

小さな施設の 2年目の 挑戦

有限会社 桃李
グループホームくもじ



グループホームくもじ

地域密着型認知症対応型共同生活介護

定員 18名

スタッフ
17名

正職員 5名
パート 12名
年齢 38~72歳
平均年齢 53.6歳

全員
女性です

芦屋町の海に近い
住宅地にあります



今年で
23年目
の施設です

1年目の取り組みでは

福祉用具0からのスタート
小さい施設だからこそそのチームワークを活かし
「くもじらしいノーリフティングケア」に取り組んだ



2年目スタート

■ 正職員2名が退職その為、正職員が7名→5名に…
推進チーム必要人数ギリギリとなる。

■ 4月よりデジタル化開始
記録や報告書を介護アプリで行うようになった

■ 6月にコロナクラスター発生
6・7月の実技研修にスタッフ不足にて参加できず。

■ 利用者様の変化
入居者様の入れ替わりが続き抱え上げる介助が必要な方がほば
いなくなった。



統括マネージャー



プランニング



教育担当



福祉用具



健康管理

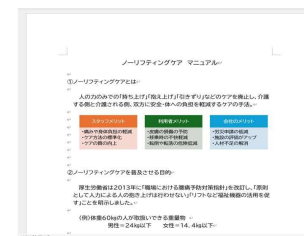


管理・推進チーム

マニュアル作成

委員会の
定期開催

全スタッフへの
周知



ノーリフ
ティング
委員会

お知らせ



マニュアルを作成し
スタッフに周知

日程の決まっていな
かった委員会開催日を
ケアカンファレンス
後に決定

委員会で決まった内容
を掲示板にて
お知らせ

一連の流れを作り、スタッフのノーリフティングケアに対する意識を高めた



リスクマネジメント

1年目にヒヤリハット報告書の様式を見直し・作成し運用
少しずつ提出数が増加

デジタル化にて報告書
提出率が減少

デジタルだと出しにくい

タブレットの操作が
ちょっと…

提出率を上げる為あえて アナログ化



事務所にひやりはっと箱（メモ用紙と提出箱を一体化した物）を置く事でスタッフの目に留まりやすく、気づいた時にすぐ提出できる。
提出件数増加中。



委員会時に対策を考え、記録し掲示板に貼り出した。

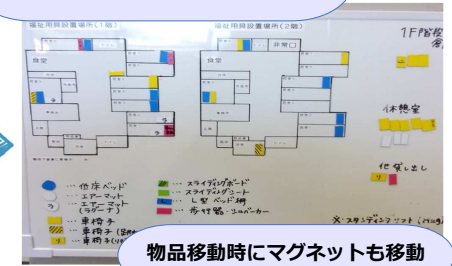


福祉用具管理

福祉用具一覧表

紙ベースで保管してファイルに綴じ込んで管理していたが目に付きにくく、保管場所変更があってもそのままの状態になっていた。

ホワイトボードとマグネット使用し、一目でわかるように変更



物品移動時にマグネットも移動

福祉用具メンテナンス



委員会メンバーのみで行っていたメンテナンスを、**他スタッフにも協力**をしてもらう様に変更

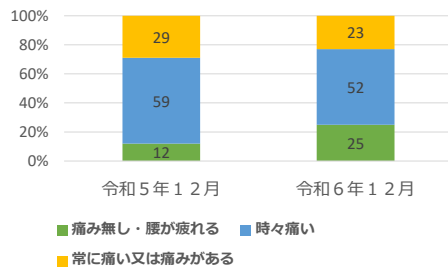


施設全体で取り組んでいる意識付けにもなった



健康管理

腰痛調査



<抱え上げ介助について>

ほとんどがそう 35%⇒ 0%
一部あり 47%⇒ 65%
ほとんどない 18%⇒ 35%

理由として…

- ・身体的介護度の高い利用者様の割合が減った。
- ・高さ調整出来るベッドの台数が増えた。スライディングボードの使用。

「これだけ体操」を始業前に行うようにし、ポスターでの啓発を続けた結果

腰痛対策として「体操」と答えたスタッフが17名中**15名**となり、定着している事がわかった。

ノーリフティングケア取り組み直後では「常に痛い」と答えたスタッフが5割であり、今回のアンケート結果と比較しても**着実に効果が出ている**



職員教育

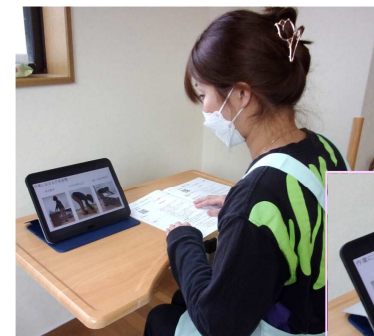


昨年度から使用している個人用ファイルをスタッフ各自にて保管するように変更。
いつでも復習・自己評価ができるようにした。

ラウンド以外でも評価行う事を伝達し、普段のケアへの意識付けを行った

スタッフの再教育

新入職員がいらない為全スタッフへの再教育を開始



購入したテキストを使用し、隙間時間に動画をみながら学習できるのでパートスタッフからも好評

個別プランニング

利用者様の入れ替わりにて抱え上げ介助の必要な方が徐々に減少
マネジメント研修時に「対象者がいない・・・」と悩んでいると

抱え上げ介助だけがノーリフティングケアではないですよ。
全利用者様が対象なのでは？



軽介助にて移乗介助行っている方のケア方法見直してみよう



でも、うちの施設にはリハ職がない
あっ！そう言えば・・・！？



リハ職である社長に協力を要請。
快く協力をしてもらい、ベッドの高さや
介助方法の見直しを行った。
決まった内容はスタッフが目につく所に
掲示。



ケアの見直しを行い軽介助→見守りで
立ち上がりできるようになった。



福祉用具

昨年度、初めてのスライディングボードを購入使用しているとスタッフから
様々な意見が聞かれた



差し込みにくく、ズレやすい！

決定



使いやすそうなボードを探し、デモ機も使用して
みて新しいボード2枚を購入

そして、念願の浴室改修

先行導入したシャ
ワーチェアも本
領発揮できず...



大きすぎる浴槽の為介助しにくく、
介護度の高い方はシャワー浴のみ。
スタッフの負担も大きかった。

浴室の改修は終了

今後、こちらに特
殊浴槽が設置予定



2年目まとめ

まずは...

スタッフ（正職員）人数が推進チーム必要数ギリギリ
の中、何とか1年やりきれた！！



■ 全スタッフにノーリフティングケアに取り組んでいるという意識向上が
図れた。

■ 年間を通して取り組める様、体制づくりが出来た。

■ ノーリフティングケアは抱え上げる介助だけではなく、全てのケア・一
般業務でも行うべきだという事の振り返りが出来た。

■ 福祉用具・設備面での充実が図れた。

今後の目標

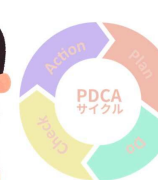
■ 2年間で作ったPDCAサイクルを継続して行っていく。

■ 推進チーム以外のスタッフにも協力を仰ぎ、施設での取り組みと
して行っていく。

■ 系列の施設へ、ノーリフティングケアを伝達していく。

■ 充実してきた福祉用具の活用。

これからも
「くもじ」
らしく



ノーリフティング
ケアに取り組んで
いきます